

食生活の創造カンパニー

2018年11月8日
2018年9月期 決算説明資料

流通の最適化を実現。

社会の変化に応じて、生産者から消費者に至るまでの「モノ」の流れを最適化する仕組みをご提案します。

We will do it.



この言葉を胸にビジョン実現のため、社員全員が強い意志【Will】をもって進んでいきます。

証券コード：7648



tokan 株式会社 トーカン

2018年9月期(第69期)実績

2018年9月期(第69期)実績 (単位:百万円)

連結業績

	2017年9月期 通期実績	2018年9月期 通期実績	増減額	対前期 増減率	連単 倍率
売上高	159,919	146,721	△13,197	△8.3%	1.0倍
営業利益	424	281	△143	△33.7%	1.1倍
経常利益	991	846	△144	△14.6%	1.0倍
当期純利益	349	616	+267	+76.5%	1.0倍

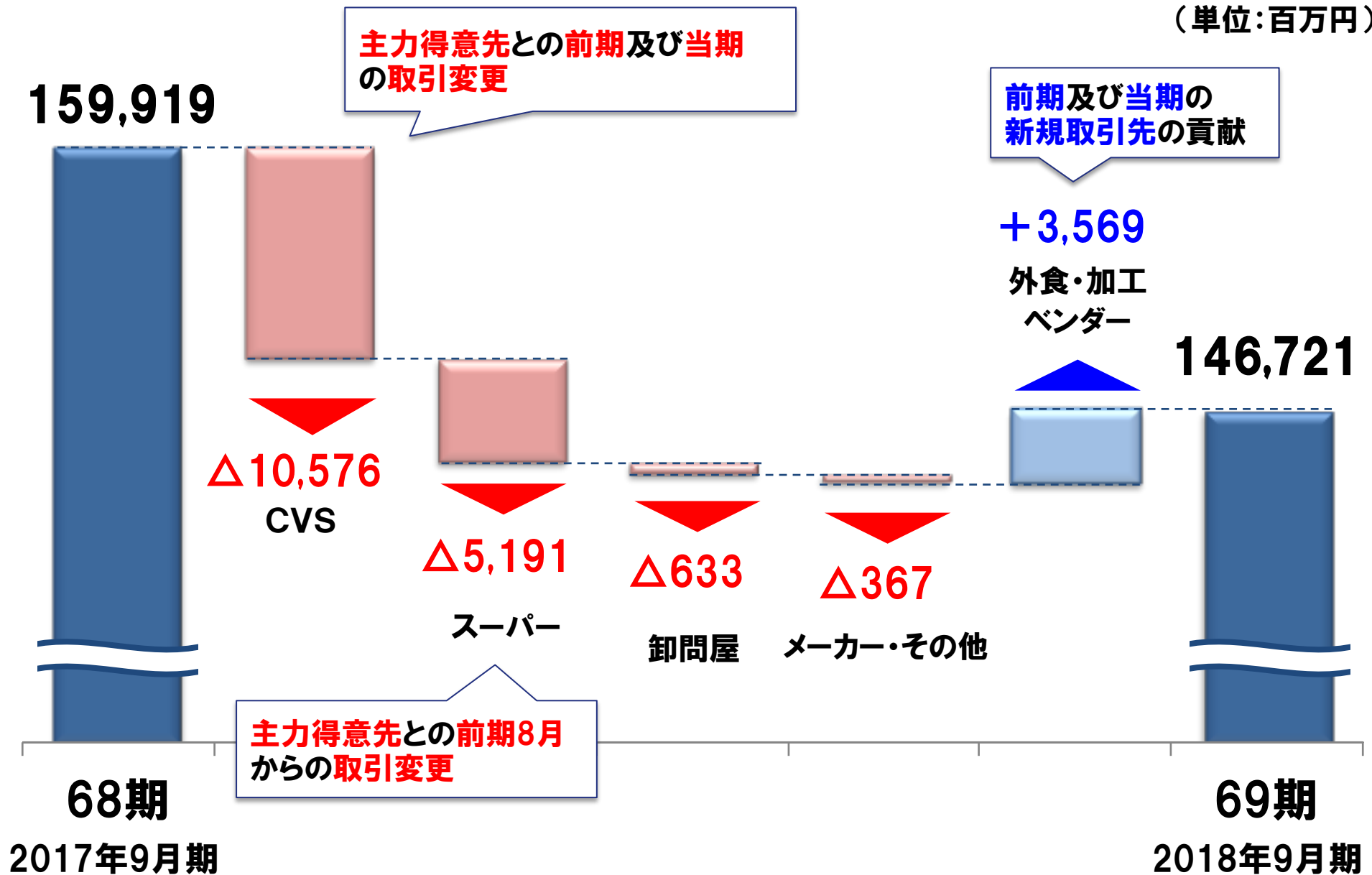
※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を表示

連結業態別売上高

	2017年9月期 通期実績	2018年9月期 通期実績	構成比	対前期 増減率
外食・加工ベンダー	47,736	51,305	35.0%	+7.5%
スーパー	49,262	44,071	30.0%	△10.5%
C V S	44,524	33,948	23.1%	△23.8%
卸問屋	15,155	14,522	9.9%	△4.2%
メーカー・その他	3,240	2,873	2.0%	△11.3%
合計	159,919	146,721	100.0%	△8.3%

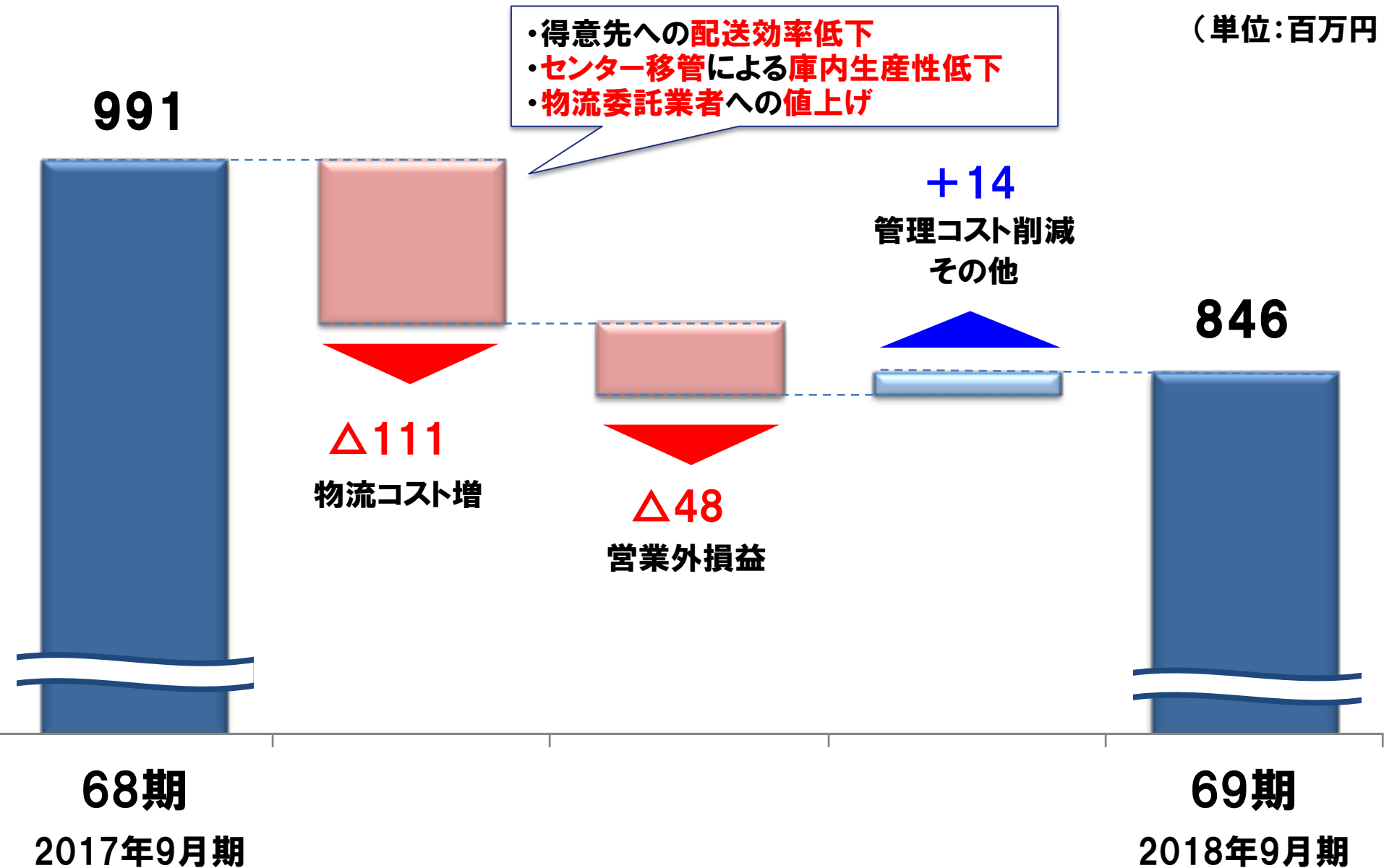
2018年9月期(第69期)売上高の増減要因

(単位:百万円)



2018年9月期(第69期)経常利益の増減要因

(単位:百万円)



2018年9月期(第69期)特別損益及び当期純利益 tokan 株式会社 トーカン

(単位:百万円)	2017年9月期 通期実績	2018年9月期 通期実績	増減額
経常利益	991	846	△144
① 投資有価証券売却益	15	403	+388
その他の特別利益	35	13	△21
【特別利益】合計	50	416	+366
② 減損損失	312	206	△105
③ 投資有価証券評価損	18	77	+58
その他の特別損失	252	17	△234
【特別損失】合計	583	300	△282
税引前当期純利益	458	962	+503
法人税等	108	343	+235
当期純利益	349	616	+267

※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を表示

① 投資有価証券売却益

保有する投資有価証券の売却により、投資有価証券売却益4億3百万円を計上。

② 減損損失

CVS向け惣菜製造工場にて減損損失2億6百万円を計上。

③ 投資有価証券評価損

保有する投資有価証券の時価が著しく低下したため、投資有価証券評価損を77百万円計上。

2019年9月期(第70期)計画

- 当社は2019年4月1日をもって、国分中部株式会社との共同持株会社設立(共同株式移転)による経営統合を行う予定のため、2019年9月期(第70期)の業績予想等については、第2四半期累計期間までの開示となります。
- なお、国分中部株式会社との共同持株会社設立による経営統合については、本日11時20分からの共同記者会見にて内容をご説明致します。

2019年9月期(第70期)連結業績予想

第2四半期(累計)

(単位:百万円)

	2018年9月期 第2四半期実績	2019年9月期 第2四半期予想	対前年 同四半期 増減額	対前年 同四半期 増減率
売上高	74,635	73,800	△835	△1.1%
営業利益	234	370	+135	+57.5%
経常利益	510	630	+119	+23.5%
当期純利益	345	430	+84	+24.4%

※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を表示。

※当社は2019年4月1日をもって、国分中部株式会社との共同持株会社設立(共同株式移転)による経営統合を行う予定のため、2019年9月期の連結業績予想は第2四半期累計期間までの記載としております。8

2019年9月期(第70期)業態別売上高予想

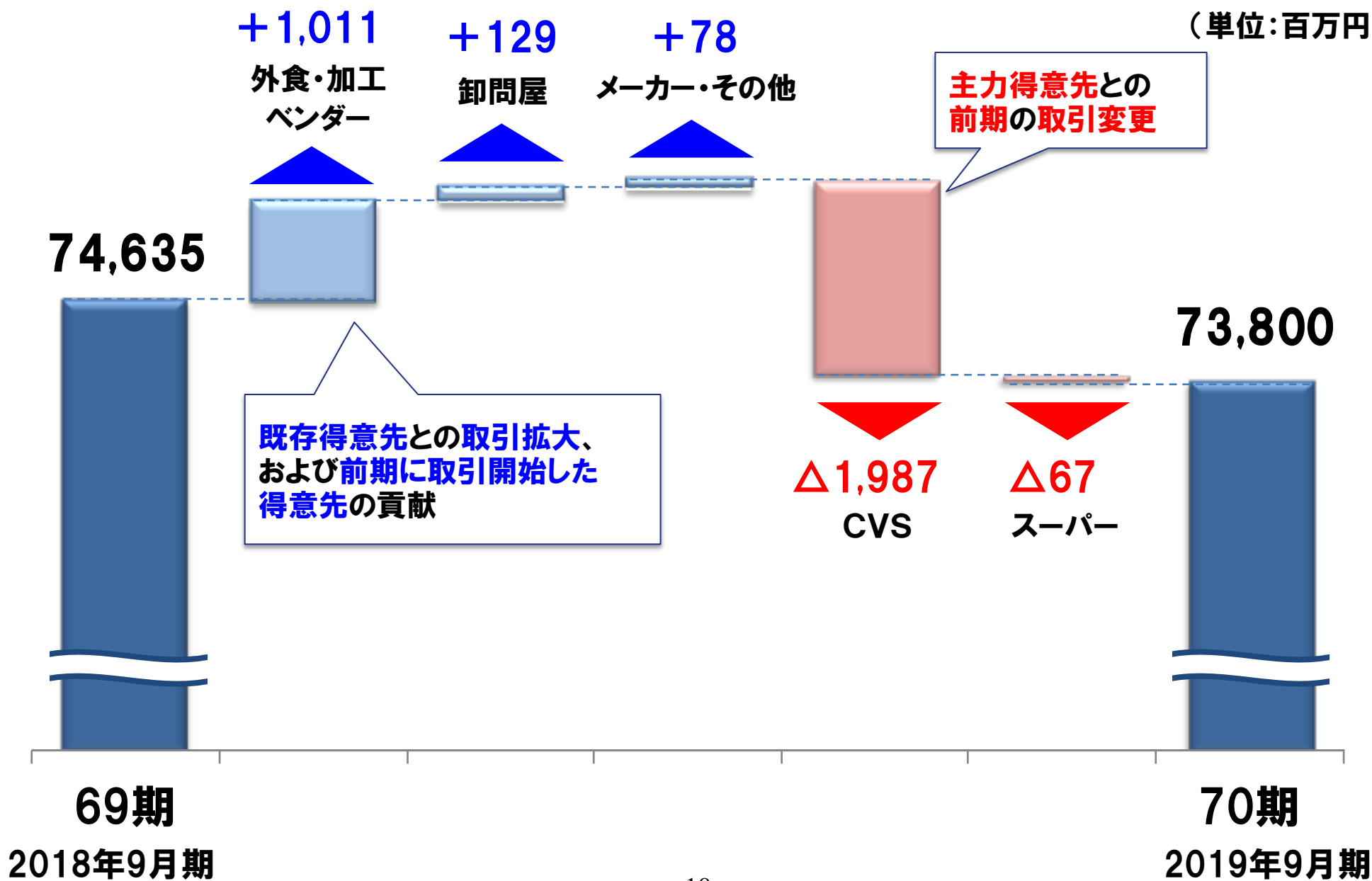
第2四半期(累計)

(単位:百万円)

	2018年9月期 第2四半期実績	2019年9月期 第2四半期予想	構成比	対前年 同四半期 増減率
外食・加工ベンダー	25,688	26,700	36.2%	+3.9%
スーパー	22,367	22,300	30.2%	△0.3%
C V S	17,787	15,800	21.4%	△11.2%
卸問屋	7,320	7,450	10.1%	+1.8%
メーカー・その他	1,471	1,550	2.1%	+5.4%
合計	74,635	73,800	100.0%	△1.1%

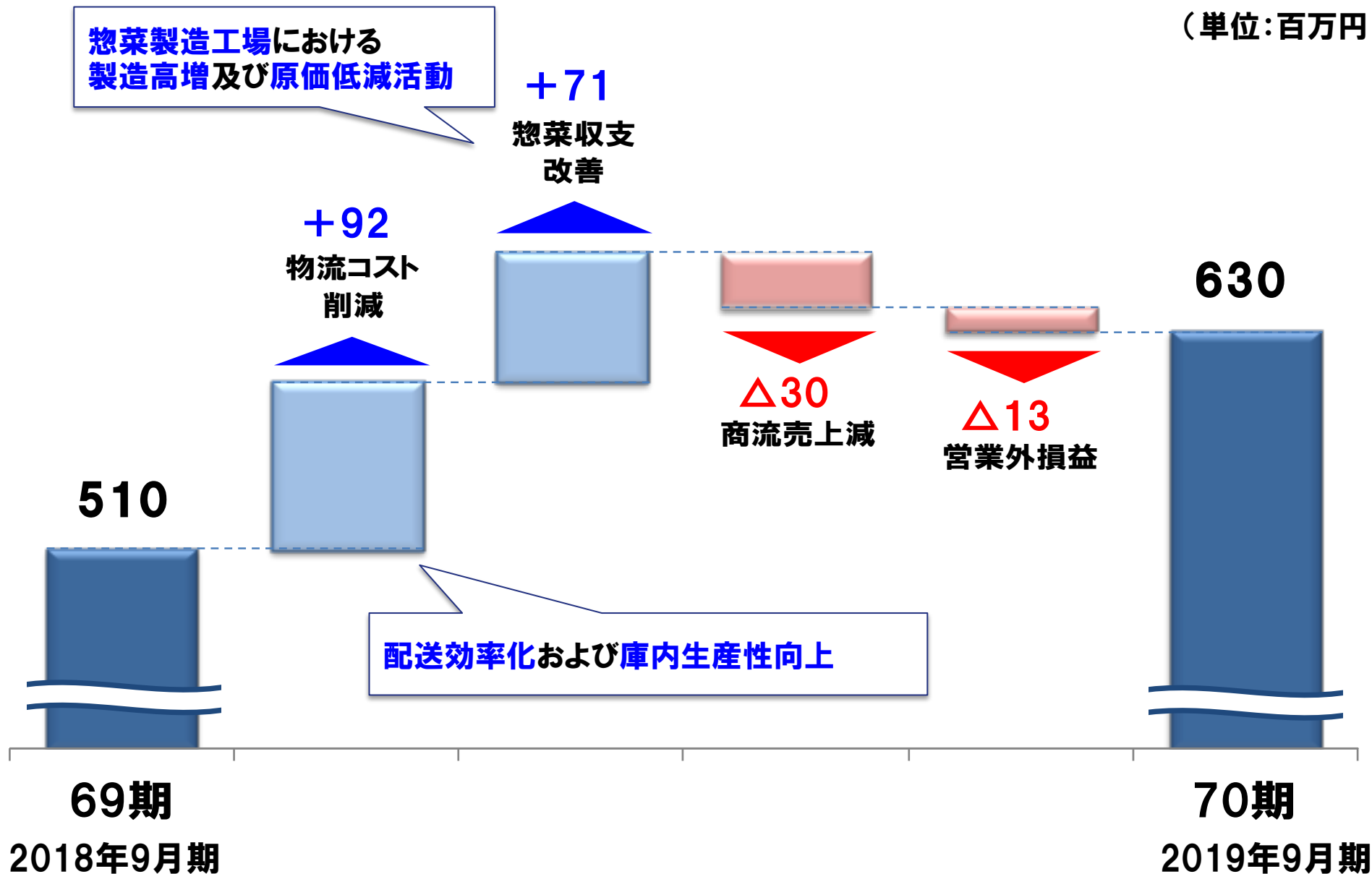
2019年9月期(第70期)第2四半期売上高の増減要因

(単位:百万円)



2019年9月期(第70期)第2四半期経常利益の増減要因

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	2018年9月期 実績	2019年9月期 第2四半期 計画
設備投資額	993	228

※設備投資額はリース資産を含めて表示しております。

主な設備投資

[2018年9月期 実績]

- ・FS小牧低温流通センター開設 **523百万円** <稼働日2018年8月>
 - ・目的用途 外食チェーン向け物流センター
 - ・延床面積 6,800㎡(2,057坪)
 - ・取扱可能金額 160億円/年
- ・名古屋工場野菜処理棟新設 **194百万円** <稼働日2018年4月>
 - ・目的用途 CVS向け惣菜製造工場 生野菜処理の内製化(カット・洗浄)
 - ・延床面積 276㎡(83坪)
 - ・処理能力 原菜2.5t/日(年換算 約900t)

[2019年9月期第2四半期 計画]

- ・各物流センター設備維持投資 **144百万円**

2018年9月期(第69期) 2019年9月期(第70期)
配当 配当(予想)

中間配当金	<u>15円</u> /株	<u>15円</u> /株
期末配当金	<u>15円</u> /株	<u>1円</u> /株
年間配当金	<u>30円</u> /株	<u>1円</u> /株
配当性向	26.8%	19.1%
1株当たり 当期純利益	112.08円	78.57円

※当社は2019年4月1日をもって、国分中部株式会社との共同持株会社設立(共同株式移転)による経営統合を行う予定のため、2019年9月期の配当予想は中間配当金までを記載しております。2019年9月期の配当性向及び1株当たり当期純利益は、第2四半期累計期間を記載しております。

食生活の創造カンパニー

2018年11月8日
2018年9月期 決算説明資料

流通の最適化を実現。

社会の変化に応じて、生産者から消費者に至るまでの「モノ」の流れを最適化する仕組みをご提案します。

We will do it.



この言葉を胸にビジョン実現のため、社員全員が強い意志【Will】をもって進んでいきます。

証券コード：7648



tokan 株式会社 トーカン